



この仲間は分類学的研究や生態など、不明なことが多い種である。福井市産 全長:約8cm

ハゼ科 ミズハゼ属 【標準全長】8cm

## ミミズハゼ

学名: *Luciogobius guttatus*

**分布域** ほぼ日本全国に分布する。

**生息域** 河口部～下流域の砂底～礫底部に生息する。



石や礫の下などに潜む様に生息する。

体形は細長く体の表面は滑らかで鱗は無い。頭部は縦扁し背鰭は1基で腹鰭は小さい。胸鰭の遊離軟条は上部に短いものが1本だけ視られる。体色は明るい黄褐色～緑褐色でやや変異が大きい。生息環境は河口部～下流域の砂底～砂礫底部で流水域に多い。転石の隙間などに生息する。食性は動物食性で主に底生動物などを食べる。産卵期は春(2～5月)で転石の下面に卵を産み、オスが単独で卵を保護する。

水槽での飼育は比較的容易。飼育水は海水を10%程度混ぜた汽水を用い、礫(転石)などの隠れる場所を用意してやるとよい。餌は冷凍赤虫に慣れる。水槽の環境や人間にも慣れる。丈夫で性格も温和。

在来種

汽水魚

※ ミズハゼ属には現在21種ほどが知られる。多くが海水～汽水域に生息する。ほとんどの種が10cmより小さいハゼの仲間で、まだまだ謎の多い種属といえる。